

令和7年度 第【 3 】学年 教科【 家庭科 】 担当【 】

1 学習目標

実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な衣食住に関する基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、課題を持って生活をよりよくしていこうとする能力と態度を育てる。

乳幼児の心身の発達の特徴を知り、幼児に関心を持ち、幼児の発達段階に応じた遊びやおもちゃを考える。

幼児期のおやつの意義を理解し、幼児に適したおやつを考え、作ることができる。子どもが育つ環境としての家族の役割を考える。家庭生活と地域とのかかわりを考えながら、保育園や幼稚園が果たす役割を考える。

2 使用教科書・教材

開隆堂 技術・家庭 「家庭分野」

3 学習内容および学習時期の目安

	単元名	学習内容（教科書項目名）
1 学期（4～7月）	幼児の生活と家族 幼児のおやつ	幼児の頃と今の自分 幼児の体の発達 幼児の発達
2 学期（8～12月）	幼児のおやつ作り 幼児の生活と家族 幼児とのかかわり	幼児のためのおやつ作り（包丁基礎・皮むき） 大人の役割 幼児と遊び 幼児とおやつ 遊びを支える環境
3 学期（1～3月）	家庭生活と地域のかかわり	子どもの成長と地域

4 評価規準およびその方法

	評価規準	評価項目・方法
知識・技能	幼児の身体や心の発達の特徴について理解している。幼児にとっての遊びの意義について理解している。幼児とのかかわり方について理解している。 子どもが育つ環境としての家族の役割について理解している。 幼児の食事やおやつの役割について理解している。家庭生活は地域とのかかわりで成り立っていることを理解している。高齢者など地域の人々と協働する必要があることについて理解している。介護など高齢者とのかかわり方について理解している。	定期考査 ワークシート 作品(レポート等) 実習時の安全 用具の使い方・ 片づけ方
思考・判断・表現	幼児とのかかわり方について問題を見出し、課題を設定している。幼児とのかかわりについて解決策を構想し、考察したことを論理的に表現している。幼児に必要な栄養素について、考察し、食事の内容や幼児に適した工夫を見いだいてメニューを設定している。 地域の人々と関わり、協働する方法について問題を見出して課題を設定し、設定した課題について解決策を構想している。高齢者と関わる方法について実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現している。 社会や環境に配慮した生活について考え、工夫している。	定期考査 ワークシート 作品(レポート等)の 表現
主体的に学習に取り組む態度	幼児とのかかわり方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。幼児とのかかわり方について課題解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。よりよい生活のために幼児とのかかわり方について生活を工夫、創造し、実践しようとしている。よりよい生活のために、幼児の食事について生活を工夫し創造し、実践しようとしている。 家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて家族・家庭や地域との関わりについて課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 高齢者とのかかわり方について課題の解決に向けた一連の活動を振り返り、改善しようとしている。持続可能な社会を目指して、家庭・保育・地域などについて工夫創造し、実践しようとしている。	ワークシートの記 述内容 実習中、授業中の 様子 実習、授業の振り返り 定期考査 提出期限